

かなざわ11月号

令和元年10月31日
横浜市立金沢小学校
金沢区町屋町26-26
☎781-2401



ONE TEAM

児童支援専任 外川 かおり

みなさんは、ラグビーワールドカップをご覧になりましたか。私は、これまでラグビーに関してはよく知らず、知っているのは「スクールウォーズ」と「五郎丸ポーズ」くらいでした。そんな私が、この秋、ラグビー日本代表に夢中になりました。

日本代表がスローガンとして掲げたのが「ONE TEAM」。日本代表には、日本を含む7つの国の出身者がいて、さまざまな言語や文化の中で生活してきた選手が集まる多国籍チームでした。日本代表として意識を高め、互いに意思疎通を図り、同じビジョンをもつことを目指してそれぞれの役割を果たしました。そんなチームだからこそ、初のベスト8に進出し、新しい歴史を刻むことができたのだと思います。

チームの中に「ウォーターボーイ」という役割があったのはご存知でしょうか。プレーが止まった時、飲み物を持ってくる人を「ウォーターボーイ」といいます。今大会では、ベンチ外の選手が担当しました。ラグビーはヘッドコーチがベンチ入りできず、直接指示をすることはできません。「ウォーターボーイ」は無線機でヘッドコーチの指示を受け、それを選手に伝える重要な役割も担っています。今大会、「ウォーターボーイ」の一人を徳永祥堯選手が務めました。徳永選手は、登録メンバーが発表されるたび、自分の名前がないのを見て、とても落ち込んで、なかなか気分が上がらないこともあったそうですが、それでも、サポート役としてチームに貢献しようと気持ちを切り替えたそうです。徳永選手は、選手として出場する機会は一度もありませんでしたが、チームに欠かせない役割を担いました。そして、選手だからこそヘッドコーチの指示を決められた時間の中での的確に伝えられたと、出場した選手からも感謝されました。

『ONE TEAM』

金沢小学校も一つのチームです。学級、学校、そして地域で。

チームの全ての人々が表舞台で活躍できるとは限りません。陰から支える人の力も大切です。さまざまな役割の人がいることで、一つの絆の強いチームになれると思います。

金沢小の子どもたちには、時には個人で、時にはチームで、今、何ができるかを考えて行動できる人になってほしいと願っています。

